

資料 5

河川空間のオープン化 制度概要と事例紹介

長野県諏訪建設事務所

諏訪湖「河川空間」オープン化 セミナーを開催しました

<概要>

- ・平成30年8月30日に、諏訪合同庁舎にて、諏訪湖創生ビジョン推進会議湖辺面活用まちづくり部会、諏訪建設事務所主催で、国土交通省河川環境課、中部地方整備局から講師を招き、民間事業者、市民、自治体職員等を対象に開催。67名参加。
- ・諏訪湖創生ビジョンの策定を受け、今後の諏訪湖を中心とした水辺活用に資するための最新事例・制度の勉強会、ワークショップによる交流を行った。



東京都で初めてオープンした 河川敷のカフェ

タリーズコーヒー墨田公園店



河川空間のオープン化とは

水辺を活かした地域活性化・観光促進のため
河川敷地を占有（使用）すること

「占有」とは → 次の2つの要件が備わっているもの

- 排他的な使用
他の同種の使用を排除し、自由な使用に優先して独占的に使用すること。
- 継続的な使用
相当期間継続して又は反復して使用すること。

「占有」には、工作物の設置を伴うものも含んでいる。

河川占用に関する法律上の根拠

河川法抜粋

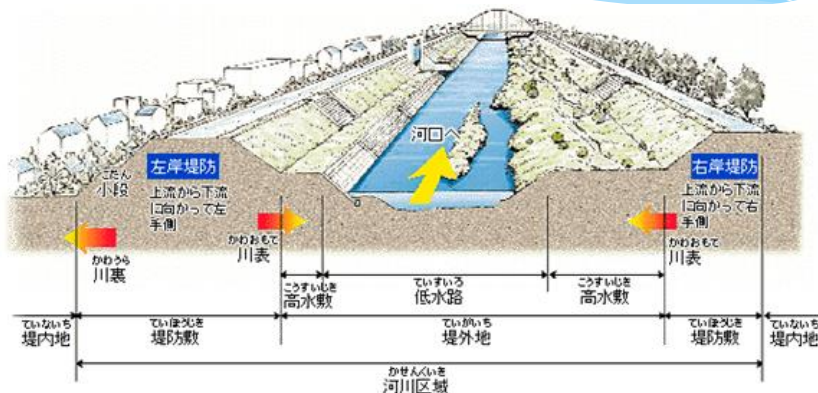
(土地の占用の許可)

第二十四条 **河川区域**内の土地（河川管理者以外の者がその権原に基づき管理する土地を除く。以下次条において同じ。）を**占用**しようとする者は、国土交通省令で定めるところにより、河川管理者の許可を受けなければならない。

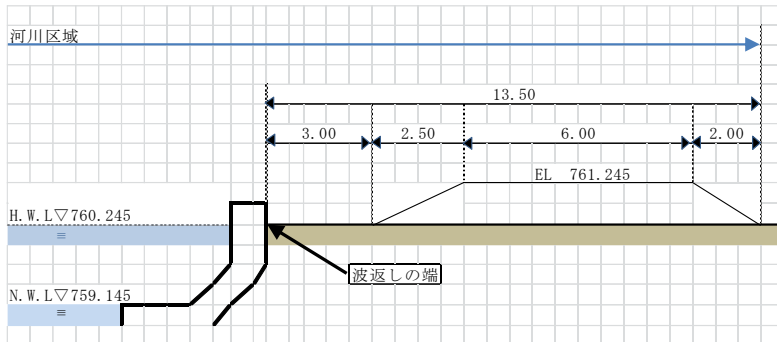
(工作物の新築等の許可)

第二十六条 **河川区域**内の土地において工作物を新築し、改築し、又は除却しようとする者は、国土交通省令で定めるところにより、河川管理者の許可を受けなければならない。河川の河口附近の海面において河川の流水を貯留し、又は停滞させるための工作物を新築し、改築し、又は除却しようとする者も、同様とする。

河川区域とは



諏訪湖における河川区域 基本的な考え方



諏訪湖の河川区域は、波返し護岸から標準堤防断面幅**13.5m**を確保することを基本としている。

諏訪湖の河川区域 (例1) 堤防のある場所



河川区域界

諏訪湖の河川区域 (例2) 埋め立てた場所



河川区域界

↑ 波返し護岸

諏訪湖の河川区域 (例3) 諏訪湖間欠泉センター



河川区域界

諏訪湖の河川区域 (例4) 原田泰治美術館裏



河川区域界

「河川空間オープン化の特例」 制度の創設

【正式名称】

都市及び地域の再生等のために利用する施設に係る占有の特例(平成23年度制度創設)

【特例制度の主な内容】

営業活動を行う事業者等による河川敷地の利用を可能とした。

【根拠規定】

河川占有の許可に係る審査基準を定めた「河川敷地占有許可準則」(事務次官通達)に特例措置の規定が追加された。

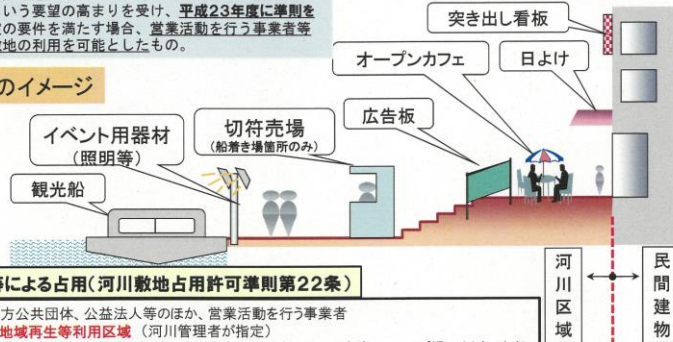
河川空間のオープン化について

国土交通省

- 河川敷地の原則的な占用主体は公共性・公益性を有する者であるが、河川敷地にぎわいのある水辺空間として積極的に活用したいという要望の高まりを受け、平成23年度に準則を改正し、一定の要件を満たす場合、営業活動を行う事業者等による河川敷地の利用を可能としたもの。

※〔正式名称〕 都市及び地域の再生等のために利用する施設に係る占用の特例
〔通称〕 河川空間のオープン化の特例

占用施設のイメージ

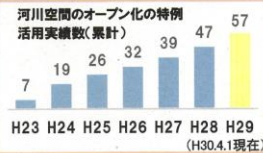


民間事業者等による占用(河川敷地占用許可準則第22条)

占用主体: 国、地方公共団体、公益法人等のほか、営業活動を行う事業者
対象区域: 都市・地域再生等利用区域 (河川管理者が指定)
対象施設: 広場、イベント施設、遊歩道、船着場、飲食店、オープンカフェ、売店、キャンプ場、川床 など
占用期間: 10年以内(※H28改定により3年→10年に延長)

特例が適用される一定の要件

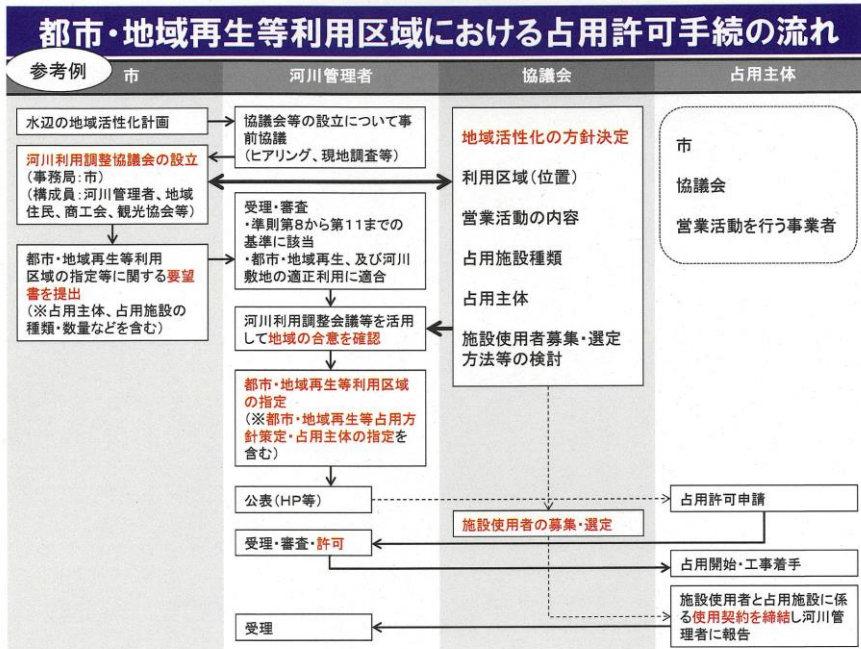
- ▶ 特例を活用する区域、占用施設、占用主体について地域の合意が図られていること。
- ▶ 通常の占用許可でも満たすべき各種基準に該当すること。
(治水上及び利水上の支障がないこと等)
- ▶ 都市・地域の再生及び河川敷地の適正な利用に資すること。



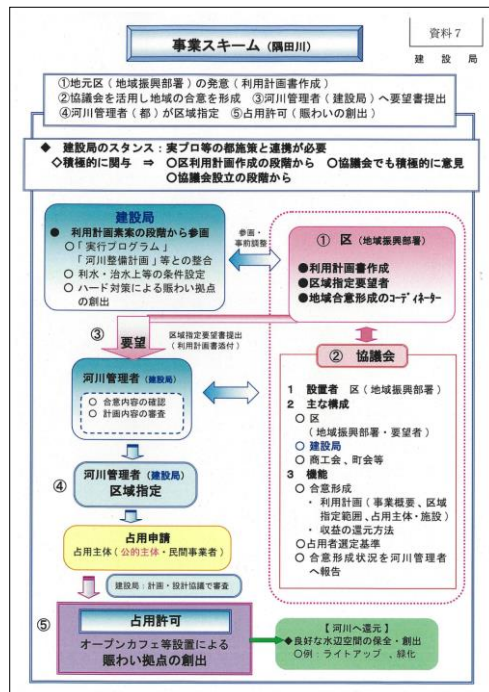
40

特例が適用される要件

- 地域の合意が図られること
 - ・特例を活用する区域 (どこで)
 - ・占用主体 (だれが)
 - ・占用施設・活動内容 (なにを)
- 通常の占用許可でも満たすべき各種基準を満たすこと
 - ・治水上・利水上、支障がないこと
 - ・土地利用の状況・景観・環境と調和がとれること など
- 都市・地域の再生及び河川敷地の適正な利用に資すること

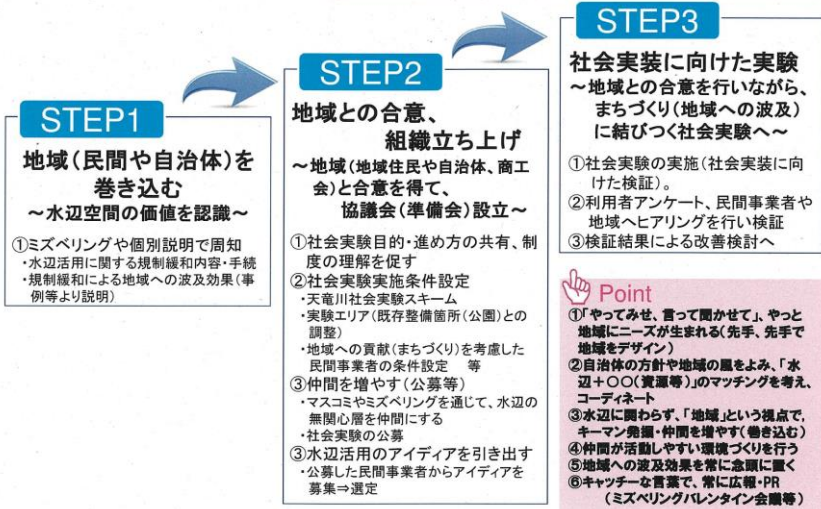


東京都墨田区での事例



天竜川社会実験実施までのステップ

国土交通省



諏訪湖河川空間オープン化イメージ



芝生の土手と玉砂利の水辺



埼玉県 入間川 (バーベキュー場)



諏訪湖に迫り出した展望・休息スペース



新潟市 信濃川 (飲食店出店スペース)

諏訪湖河川空間オープン化イメージ



静岡県 狩野川の川テラスを諏訪湖の河川敷に当てはめたもの

諏訪湖河川空間オープン化イメージ



静岡県 狩野川の川テラスを諏訪湖の河川敷に当てはめたもの

赤砂崎水辺空間活用事業の取組



赤砂崎水辺空間活用事業の取組



現地視察

グループワークによるアイデア出し



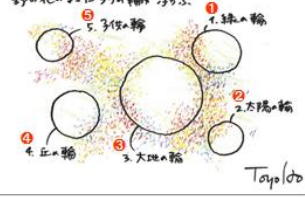
赤砂崎公園・諏訪湖河川空間活用計画プロジェクト

赤砂崎公園 コンセプトを可視化

- 1 多目的広場**
- コンセプト 陸の輪
 構 成 ◆高開りや吹き抜けが特徴
 ◆バーベキュー広場を設ける
 費用対金 並背壁、乳、吹明/昼、並背壁、吹明/夜間
 広 敷 ◆バーベキュー、バスケットコート、バーベ
 駐 車 ◆車庫、トイレ、駐輪場
 現状 さまいビルディング、鹿角舎
- 2 防災ヘリポート広場(ピクニック広場含む)**
- コンセプト 太陽の輪
 構 成 ◆バーベキューや売場が特徴
 ◆池、島を盛り込む
 費用対金 並背壁、吹明/昼、並背壁、吹明/夜間
 広 敷 ◆バーベキュー、吹明、駐輪場、花壇
 トイレ、駐輪場、売場
 現状 トイレ、駐輪場、売場
- 3 多目的グラウンド**
- コンセプト 大地の輪
 構 成 ◆運動を盛り込む
 ◆島の島のマウンドが広場を囲んだ広場となる
 費用対金 並背壁、吹明/昼、並背壁、吹明/夜間
 広 敷 ◆サッカー、吹明、駐輪場
 トイレ、駐輪場、売場
 現状 吹明、吹明、吹明、吹明、吹明
- 4 右岸広場**
- コンセプト 丘の輪、手形の輪
 構 成 ◆遊歩道を設ける
 ◆池、島を盛り込む
 費用対金 並背壁、吹明/昼、並背壁、吹明/夜間
 広 敷 ◆吹明、吹明、吹明、吹明、吹明
 トイレ、駐輪場、売場

赤砂崎公園 コンセプト

- 島の島、島の島を盛り込むことで、できるだけ自然のままの公園にする
- 公園を盛り込むことで、できるだけ自然のままの公園にする
- 島の島の島に、できるだけ自然のままの公園にする
- 島の島の島に、できるだけ自然のままの公園にする
- 島の島の島に、できるだけ自然のままの公園にする
- 島の島の島に、できるだけ自然のままの公園にする

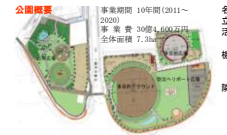


赤砂崎公園・諏訪湖河川空間活用計画プロジェクト

1. 目的・目標/戦略 ... 考えた見直し

- 目的** 赤砂崎地区をもっと楽しく使ってもらおう！
 市民 もっと気軽に楽しめる空間、住民憩いの場の創
 設
 事業者 収益性があり持続可能な事業展開
 行政 経理管理費の削減による行政コストの削減
 市民 季節感を体感し楽しむことができる
 5つの輪(ゾーン)に人が集まりやすい環境をつくる
 平常時から使うことで緊急時にも使える
- 戦略(ビジョン)**
 1 使ってもらえるためのトライアルを繰り返す
 2 使ってもらえるところをイメージする、つくる
 3 使ってもらえる仕組みをつくる

2. 現状分析/課題 ... 今の問題はこんなこと



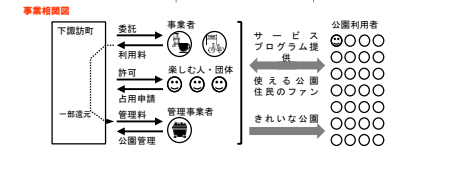
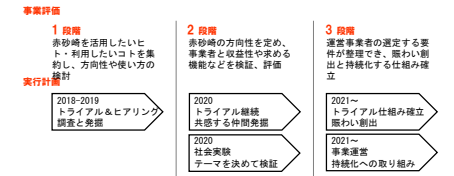
- 利用状況** [場所/機能] [利用用途]
 1 防災ヘリポート広場 イベント時駐車場
 2 多目的広場(バーベキュー) サマールミネーション
 3 多目的グラウンド 野球、サッカー、防災訓練、消防訓練、大相撲
 4 右岸広場(2020年供用開始予定) 長靴を脱ぎ、遊具で遊ぶ
 5 ジョギングロード ジョギング、ウォーキング
 6 サイクリングロード サイクリング
 7 下諏訪橋(諏訪湖) 遊覧船、ボード/カヤック、釣り、
 SUP(立派なボート) 遊覧船、ボード/カヤック、釣り、
 8 堀川
- 現状分析** カヌー
 課題
 ○ 大人数イベント可能 ex)防災訓練
 ○ 遊歩道整備でカヌー可能性アリ
 △ 誰が使うのか 本場の利用者ニーズは？
 × 気軽に参加できるイベントある？
 × 遊歩道と連携したものが少ない
 × ジョギング、サイクリング、アクティビ
 ティ × くらげのカフェなどない
 運営して自然も楽しめる施設したい
 × 防災色が強い、平常時活用が難しい
 一 家族や個々で楽しむスペースが主
 ゆるいイベント、ゆったり/活動的に過ごす
 休憩施設(ひろば)、アクティビティのニー

3. コンセプト/具体案 ... だからこうやって解決

コンセプト 多くの方楽しく使ってもらえる工夫
 楽しいイベント・コトが持続する空間 行きたくなくなる公園

具体案	トライアル	調査と発表	社会実験	目的別実験	運用	必要な整備
想定	事業者ニーズ？ 利用者が見たいサービス？	事業者ができる？ 誰のためのサービス？	事業化できる？ 誰のためのサービス？	運営する事業者？ サービス強化？ 公園FFI(行政への還元)		
実施	飲食・体験・イベント・展示会・オートキャンプ・スローな小さなイベントやワークショップなどを楽しくできる範囲(広がりを感じないで、積み重ね、使ってもらえること)に對して検証する。	トライアルでの結果を受けて、事業化の可能性や利用者が求めているサービスの検証を社会実験として検証する。	トライアルと社会実験の検証結果を受け、運営できる事業者を選定し、公園利用者がより楽しく、必要なものをサービスできるハードとソフトを整える。	合わせて、ゆるい仕組みも整備する。	事業者が運営したいと思う整備を共同でつくりあげ、持続化する事業を後援する。	
検証	赤砂崎公園の本来のターゲットや活用方法のヒントを探る。	事業者とともに検証する。				

4. 事業評価/実行計画 ... こう変わる、そして、こうした



花火の打ち上げ台 活用できるか

